

外来における在宅療養支援能力向上のための研修実施要項

1. 研修目的

- 1) 外来看護職が講義及び演習によって、地域における自施設の外来が果たすべき役割に基づき、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得する。
- 2) 習得した知識をもとに、外来看護職として在宅療養支援を実践することができる。

2. 学習目標

- 1) 講義を通じて、外来看護を取り巻く現状や国の政策について理解することができる。
- 2) 所属施設の医療機能や地域の実情等から、地域で切れ目ない在宅療養支援を行う上での、自施設が担うべき役割を理解することができる。
- 3) 1)及び2)を踏まえて、演習によって、在宅療養支援における自身の役割や課題に対する認識を深め、実践力の強化につなげることができる。

3. プログラム

時間	方法	内容	講師
40分	講義1 (eラーニング)	外来看護を取り巻く現状と課題、国の政策動向等に基づく外来看護職の役割	吉川久美子 (日本看護協会)
40分	講義2 (eラーニング)	外来における在宅療養支援	永田智子 (慶應義塾大学)
40分	講義3 (eラーニング)	在宅療養を支える地域連携とネットワーク	吉田千文 (常磐大学)
40分	講義4 (eラーニング)	在宅療養患者(外来患者)の意思決定支援	藤井淳子 (東京女子医科大学病院)
40分	講義5 (eラーニング)	在宅療養患者(外来患者)を支える社会資源	松本明子 (聖路加国際病院)
150分	講義・演習 R6.1.27 (土) 13:30~16:00	講義:地域の現状や自施設を取り巻く状況等について(20分) グループディスカッション: 事例検討(130分) 全体共有	講師・ファシリテーター 松本登紀子 (高松赤十字病院)

4. 対象者： 病院・診療所等の外来勤務(救急外来勤務も含む)又は勤務予定のある看護職員
(常勤や非常勤・短時間勤務等の雇用・勤務形態は問わない)

5. 定数： 20名

6. 受講料： 会員 3,600 円 非会員 10,000 円 (税込み)

駐車料金： 会員 300 円 非会員 700 円

7. 申込み： 香川県看護協会ホームページより、専用の申込用紙をダウンロードし、必要事項を入力後、メールまたはFAXにて申込み

8. 申し込み期間：10月2日（月）～ 10月16日（月）

9. 研修方法：

本研修は、1)講義1～5(eラーニングコンテンツの視聴) 2)事前課題 3)演習で構成

1) 講義1～5(eラーニングコンテンツの視聴)

個別研修として、個人で演習実施日までに日本看護協会が配信するeラーニングコンテンツを視聴(視聴用のID及びパスワードは10月末までに申込時に登録いただいたPCメールアドレスに送信されます)

・視聴期間：11月6日（月）～ 令和6年1月5日（金）

・講義時間：200分(40分×5本)

・視聴終了後に受講確認表別添1を県看護協会へメール又は郵送で提出

提出期限:令和6年1月10日（水）

メールアドレス：k-kango@smile.ocn.ne.jp

2) 事前課題

・講義1～5を受講後、以下のテーマ①②について課題を作成し、県協会へ提出する。

① 地域における自施設の役割と外来看護職として自らが担う役割等について

② 外来における療養支援について自身が感じている課題

・提出書式：別添2事前課題記入用紙（A4用紙1～2枚にまとめる）

・提出期日：令和6年1月10日（水）

・提出方法：郵送またはメール

メールアドレス：k-kango@smile.ocn.ne.jp

3) 演習

・開催日時：令和6年1月27日（土）13:30～16:00

・場 所：香川県看護協会 看護研修センター

・方 法：集合

☆eラーニング受講システムより発行された講義1～5(eラーニングコンテンツの視聴)受講証明書を演習日に必ず持参し、受付時に提出

10. 修了証の発行について

eラーニング・事前課題・演習全て修了した方に修了証を発行します。

問合せ先・担当:岡田・富田

〒769-0102 高松市国分寺町国分 152-4

公益社団法人香川県看護協会

TEL (087)864-9070 FAX (087)864-9071

電子メール k-kango@smile.ocn.ne.jp

